

いのちとくらしをまもる  
防災減災

令和4年6月3日  
沖縄気象台

## 2022年5月 沖縄地方の降水量は過去最多 日照時間は過去最少

2022年5月の沖縄地方の月降水量は平年の約3倍となり、5月として1946年以降最も多くなりました。月間日照時間は平年の約半分にとどまり、5月として1946年以降最も少なくなりました。

### 1. 2022年5月の天候の特徴

沖縄付近に梅雨前線が停滞し、また前線に向かって湿った空気が多く流れ込んで、梅雨前線の活動が活発となりました。

このため、沖縄地方は曇りや雨の日が多くなり、月降水量平年比は303%で、5月としては統計を開始した1946年以降最も多くなりました。また、月間日照時間の平年比は49%で、5月としては統計を開始した1946年以降最も少なくなりました。

地点ごとに見ると、5月としては、月降水量は名護、久米島、宮古島、西表島、与那国島で最も多くなり、宮古島の月降水量は通年でみても最も多くなりました。月間日照時間は那覇、南大東島、石垣島で最も少なくなりました。

### 2. 5月の沖縄地方の降水量と日照時間

地域平均降水量平年比の多い方からの順位

順位 (多い方から)	年	地域平均平年比 (%)
1	2022	303
2	1966	207
3	1956	205

平年値期間は1991～2020年。統計開始は1946年。

地域平均日照時間平年比の少ない方からの順位

順位 (少ない方から)	年	地域平均平年比 (%)
1	2022	49
2	2011	56
	1979	56

平年値期間は1991～2020年。統計開始は1946年。

\* 沖縄地方における地域平均平年比は、いつもの年(平年値:1991～2020年の平均)と比べてどのくらい多い(少ない)かを地域全体でみるもので、統計期間の長い那覇、名護、久米島、宮古島、石垣島、西表島及び与那国島における気象要素の平年比を7地点平均することにより算出しています。

### 3. 今後の見通し

沖縄地方では、曇りや雨の日が多い状態が今後10日間程度は続く見込みです(6月3日発表「長雨と日照不足に関する沖縄地方気象情報 第2号」)。

問合せ先：沖縄気象台 地球環境・海洋課 担当 佐藤・玉城  
電話：098-918-4012

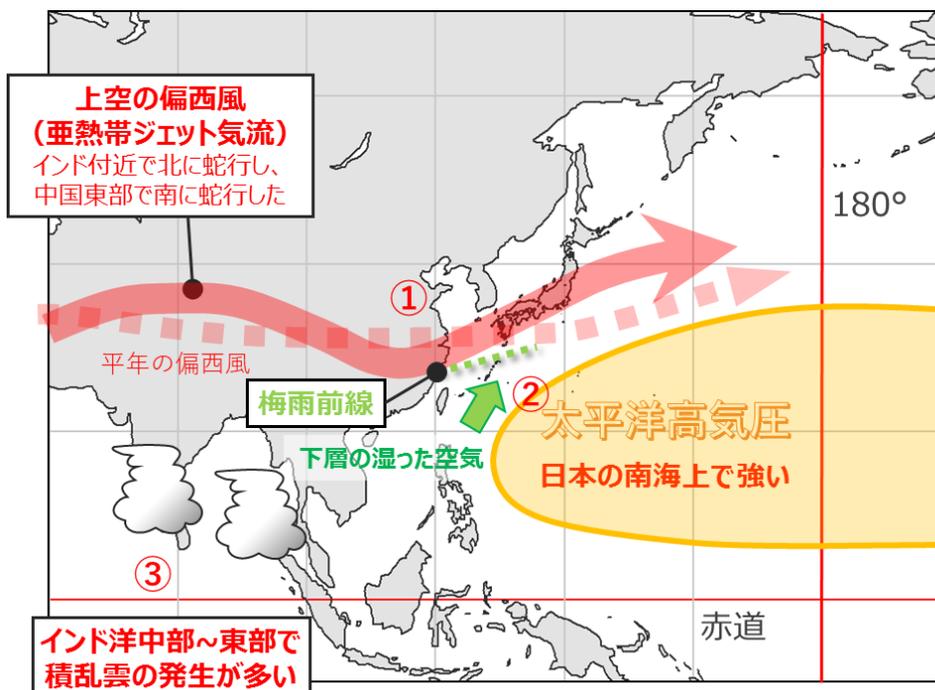
1. 2022年5月 沖縄県内の気象官署及び特別地域気象観測所における降水量  
月降水量は、5月としては名護、久米島、宮古島、西表島、与那国島で最も多くなったほか、那覇、石垣島で3番目に多くなりました。宮古島では通年としても最も月降水量が多くなりました。

観測地点	月降水量 (mm)	平年値 (mm)	平年比 (%)	統計開始以来の 多い方からの順位 (10位以内のみ)	5月としての これまでの最多		統計開始 年
					月降水量 (mm)	年	
那覇	601.5	245.3	245	3	637.0	1966	1891
名護	611.0	220.1	278	1	594.0	1969	1967
久米島	714.5	260.3	274	1	662.2	1966	1959
南大東島	491.0	222.0	221	5	566.5	2020	1942
宮古島	815.0	222.3	367	1	529.5	2011	1938
石垣島	588.0	190.7	308	3	671.7	1936	1897
西表島	582.0	175.6	331	1	509.0	1974	1954
与那国島	666.0	207.3	321	1	661.5	2019	1957

2. 2022年5月の沖縄県内の気象官署及び特別地域気象観測所における日照時間  
月間日照時間は、5月としては、那覇、南大東島、石垣島で最も少なくなったほか、名護、宮古島、西表島、与那国島では2番目、久米島では3番目に少なくなりました。

観測地点	月間 日照時間 (時間)	平年値 (時間)	平年比 (%)	統計開始以来の 少ない方からの順位 (10位以内のみ)	5月としての これまでの最少		統計開始 年
					月間日照時間 (時間)	年	
那覇	63.7	138.2	46	1	75.7	2011	1900
名護	68.2	136.7	50	2	60.9	2011	1967
久米島	79.1	136.2	58	3	67.8	2011	1959
南大東島	70.6	171.0	41	1	88.0	1979	1947
宮古島	78.0	149.3	52	2	70.7	1979	1938
石垣島	71.9	164.3	44	1	88.4	1979	1899
西表島	77.3	165.8	47	2	72.1	1979	1959
与那国島	62.0	142.3	44	2	51.3	1979	1957

### 3. 記録的な多雨と寡照になった要因



2022年5月の平均的な大気の流れの模式図

2022年5月、沖縄地方では梅雨前線が停滞し、その活動が活発であったため、記録的な多雨と寡照になりました。これをもたらした大規模な大気の流れの特徴とその要因は、以下のとおりです。

- ① 上空を流れる偏西風（亜熱帯ジェット気流）の蛇行が明瞭で、特に平年の位置に比べて中国東部で南に蛇行する状態が持続したことにより、沖縄地方では梅雨前線が停滞しました。
- ② 太平洋高気圧が日本の南海上で平年よりも強く、沖縄地方にはその縁辺をまわる下層の湿った空気が多く流れ込み、梅雨前線の活動が強化されました。

偏西風の蛇行（①）と太平洋高気圧の強まり（②）には、インド洋中部～東部で積乱雲の発生が平年よりも多かったこと（③）が影響したと考えられます。

- 上空の偏西風は、インド付近で平年に比べて北に押し上げられ、その影響で、その東方にあたる中国東部で南に蛇行したと考えられます。
- 下層では太平洋からインド洋へ吹き込む風が強まりました。他方、これに伴って、下層風の吹き出し域にあたる日本の南海上では下降流が卓越して、太平洋高気圧が強まったと考えられます。

#### 4. アメダス地点の5月の降水量

地点名	月降水量 (mm)	平年値 (mm)	平年比 (%)	統計開始 年
伊是名	372.5	222.1	168	1977
奥	*752.5	281.8	267	1976
国頭	*635.0	288.5	220	2006
本部	502.0	235.9	213	1982
東	558.0	253.9	220	1982
粟国	*608.0	244.0	249	2003
読谷	404.0	226.1	179	1976
北原	*574.0	246.1	233	2003
胡屋	575.5	262.3	219	1976
宮城島	427.0	294.7	145	2008
渡嘉敷	537.5	269.1	200	1977
安次嶺	522.0	222.0	235	2003
糸数	643.0	243.7	264	1976
北大東	*578.5	210.5	275	2003
旧東	460.5	210.4	219	2003
下地島	*694.5	197.0	353	2003
鏡原	*751.5	199.4	377	2003
城辺	*665.0	213.9	311	1978
仲筋	*616.5	183.9	335	2003
伊原間	370.0	212.1	174	1977
所野	588.5	206.7	285	2003
川平	481.0	216.6	222	1978
盛山	378.0	236.6	160	2013
大原	482.0	169.6	284	1978
波照間	408.5	170.5	240	1979

#### 5. アメダス地点の5月の日照時間

地点名	月間日照時 間(時間)	平年値 (時間)	平年比(%)
伊是名	78.0	162.3	48
奥	52.4	145.0	36
宮城島	71.5	154.4	46
渡嘉敷	74.2	163.7	45
糸数	52.3	127.9	41
伊原間	68.5	145.2	47
大原	59.3	151.1	39
波照間	85.4	174.9	49

アメダスの日照時間は2021年3月2日から、気象衛星観測のデータを用いた「推計気象分布(日照時間)」から得る推計値としており、それまでの日照計による観測値と比較ができず、統計期間も短いため極値更新かどうかは記載していません。統計開始年も記載を省略しています。また、日照計による観測が続いている地点(気象官署及び特別地域気象観測所)との比較もできません。平年値については推計値相当の値に補正しています。

- ・\*は5月の極値更新を表します。
- ・平年値がある地点のみ掲載しています。
- ・値は速報値であるため修正されることがあります。
- ・平年値期間は1991～2020年です。

月別、旬別の沖縄県の天候についての詳細は、「沖縄地方の天候」や「沖縄県農業気象旬報」をご覧ください。

沖縄地方の天候：<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/tenko/tenko.html>

沖縄県農業気象旬報：<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/nougyo/nougyo.html>